



①真空チャンバーおよび複合加工製品
②さまざまな材質に対応する旋盤加工
③ヘリウム漏れ検査機にて試作部品に漏れがないか確認
④部門間連携で高品質な加工を実施

でん そう せい き
電装精機 株式会社



強み

3部門を有しており、一貫生産を実現

旋盤加工、フライス加工、溶接の3部門を有しているため、真空装置や開発装置、生産設備、各種治工具の部品といった機械加工から溶接まで社内の一貫生産できる。各部門ごとにリーダーを設置しており、中でも旋盤は20代の若手社員がリーダーを務める。若いうちから責任ある仕事を任せ、将来の会社の中心となる人材も育てる計画だ。

材質は、ステンレスやアルミのほか、加工が難しいチタンやインコネル、モリブデンやニッケルなどの金属、さらに樹脂にも対応しているため、顧客のさまざまな要望に短納期で対応できる技能を持つ。高度な研究開発に対応し高精度な製品を提供することや、熟練技術者の経験に依存する現状から脱却するため、同社では積極的に最新鋭の設備導入を進めている。

平成26年度には高度なフライス加工を可能にするマシニングセンター(MC)を、平成28年度には複合CNC(コンピュータ数値制御)旋盤機を導入し、高精度加工における競争力強化に余念がない。

技術向上

勉強会を実施、技術力向上へ

高い技術人材を持つ同社だが、さらなる技術力の向上に余念がない。月に2回、部門リーダーを中心に勉強会を実施し、新しい技術や機械操作の習得に取り組む。新工法の研究や実施方法のほか、新しい治具製作にも挑戦している。勉強会で実施した内容は、日常業務でも取り入れられるように打合せを綿密に行う。部門リーダーは、展示会などにも積極的に参加してPR活動を行うほか、競合他社の研究や自社の弱点の把握に努めている。

若手人材について、「技術力育成は必要だが、人間性を育てることが大切」と古野隆史社長は考えを示す。人間性という土台があって初めて素晴らしい技術者になる。「気長に、細く長く」育成することをモットーに、技術力だけでなく同社の社是である「誠実」をベースに教育・指導を行う。

一方、多品種少量生産で顧客の細かいニーズにも対応するため技術者1人あたりの比重が大きいことが課題だ。しかし、「苦しくても技術力を絶やすわけにはいかない」と古野社長は力を込める。大阪府内の大学や高校への広報活動を積極的に高い採用活動を強化する考えだ。

今後の展開

未来を担う若手人材を育成する

「ALL THINK, ALL CHALLENGE」のスローガンのもと、営業社員も含め、会社全体で加工方法を考え、全社員で改善・対策を考えられる技術・技能集団を育てる。そのためには、工場内の生産環境を向上させる必要がある。同社は平成16年にISO9001を取得。多品種少量生産における納期管理・サービス体制を確立している。それを維持することやさらに向上させることを目的に、整理・整頓・清掃・清潔・しつけの「5S」を順守する「5S見守り隊」を若手を中心に結成し、月に2回から3回活動している。生産環境向上のほか若手の自主性や自律性にも寄与する。

さらに、中堅技術者の教育として月に一度「電装塾」を実施。部門リーダーのほか、古野社長や大手メーカー出身の技術顧問らが出席し、リーダーそれぞれに技術的・経営的な課題を与え、課題解決を促す。「20代の若手の部門リーダーを自立させ、将来を担う人材へ育成していきたい」と古野社長は意気込む。技術面ではさらなる高精度化と複雑形状への対応の両立を実現するために、新しい設備の導入を進めており、新たな加工方法の柱を増やす考えだ。

技術者集団が多品種少量生産で顧客の幅広い要望に応える

事業内容と沿革

多種類の材質に対応、短納期で高品質な試作品を提供

昭和29年の創業以来、パナソニック(株)の研究開発部門向けをメインとした、試作品・部品加工を手がけている。加工する材質は、ステンレスやアルミ、銅、真ちゅう、鉄、インコネル、チタンなど、多種類に対応する。長年、研究開発特有の多品種少量生産に従事したことで培った高度な技術力とノウハウを武器に、ここ数年はパナソニック(株)だけでなく、他の企業や大学の研究開発関連の受注も増えてきている。顧客の開発部門や研究部門を相手にした仕事のため複雑な加工形状へ常に挑戦を続けている。パナソニック(株)からは過去

4回感謝状を受賞するなど、これらのノウハウを高く評価されている。小企業でありながら独自の営業部門を持つため、顧客企業の開発・設計担当者が図面化する前に、品質精度やコスト、納期の要求事項を綿密に打合せることができる。加えて、大企業にはない小回りの良さで社内一貫生産体制を整備しているため短納期で高品質な試作品作りが可能だ。ここ数年は、国内外メーカーの製品開発の競争が激化しているため、今後はさらに高精度な部品や複雑な形状の試作に挑戦する。

代表取締役社長
ふるの たかし
古野 隆史さん



「チーム電装」一丸となって試作品の部品加工に取り組む

10数名の加工メーカーは、旋盤・フライス加工・溶接のいずれかに特化していることが大半です。そんな中、当社はその3部門があり、各部門間において綿密な打合せができることが最大の特徴です。例えば、溶接することで熱による歪みが発生します。当社は溶接に関する技術的なノウハウの蓄積があるので歪みを見越した材料仕入れや一次加工ができます。「ムダ・ムラ・ムリ」がなく円滑に作業できることで、高品質で高精度な複合加工が可能です。「チーム電装」一丸となって、機械加工を極め、新世代を切り拓いていきます。

- 主な事業内容
機械加工から溶接までを社内で一貫生産、幅広い顧客の要望に対応
- 主な取引先(納入先)
パナソニック(株)など

住 所 / 〒570-0002
大阪府守口市佐太中町2-7-16
TEL / 06-6905-3961
FAX / 06-6905-3963
創 業 / 昭和29年4月
設 立 / 昭和31年4月
資本金 / 3,000万円
従業員 / 13名

<http://www.denso-seiki.jp/>